

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公開番号】特開2016-176283(P2016-176283A)

【公開日】平成28年10月6日(2016.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2016-058

【出願番号】特願2015-58193(P2015-58193)

【国際特許分類】

E 04 B 9/16 (2006.01)

E 04 B 9/18 (2006.01)

【F I】

E 04 B 5/55 R

E 04 B 5/58 S

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月5日(2018.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

躯体天井部から垂下する複数の吊りボルト間に架設される複数の野縁受けや振れ止めなどのチャンネル状の天井下地材に対して、その上面側又は下面側に直交させて配設されるチャンネル状の耐震用補強下地材を連結固定するための下地材固定金具であって、

該下地材固定金具は、直交する下地材の開口側から配設されるよう、下側下地材の裏面側上面部と上側下地材の下面部に跨って支持受けする略矩形状の下面支持片を有する下面固定部材と、上側下地材の裏面側下面部と下側下地材の上面部に跨って支持受けする略矩形状の上面支持片を有する上面固定部材とを組みとして上下一対に備えると共に、

前記下面支持片に、上側下地材の側面部に係合してビス固定される立上り固定片を折曲形成する一方、前記上面支持片に、下側下地材の側面部に係合してビス固定される垂下固定片を折曲形成せしめて、

前記下面支持片と上面支持片とを、挿通された締結手段の締め付け操作によって挟み込み挾持させた状態で、対面する下地材の上面部と下面部同士を互いに圧着させて挾持固定可能に構成し、

直交する下地材同士を、前記下面固定部材と上面固定部材とによる前記挾持固定状態で組み付け調整を行いつつ、前記立上り固定片と垂下固定片とをそれぞれビス固定することにより位置ズレ規制可能に構成されていることを特徴とする下地材固定金具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために本発明の下地材固定金具は、躯体天井部から垂下する複数の吊りボルト間に架設される複数の野縁受けや振れ止めなどのチャンネル状の天井下地材に対して、その上面側又は下面側に直交させて配設されるチャンネル状の耐震用補強下地材を連結固定するための下地材固定金具であって、該下地材固定金具は、直交する下地材の開口側から配設されるよう、下側下地材の裏面側上面部と上側下地材の下面部に跨って支

持受けする略矩形状の下面支持片を有する下面固定部材と、上側下地材の裏面側下面部と下側下地材の上面部に跨って支持受けする略矩形状の上面支持片を有する上面固定部材とを組みとして上下一対に備えると共に、前記下面支持片に、上側下地材の側面部に係合してビス固定される立上り固定片を折曲形成する一方、前記上面支持片に、下側下地材の側面部に係合してビス固定される垂下固定片を折曲形成せしめて、前記下面支持片と上面支持片とを、挿通された締結手段の締め付け操作によって挟み込み挟持させた状態で、対面する下地材の上面部と下面部同士を互いに圧着させて挟持固定可能に構成し、直交する下地材同士を、前記下面固定部材と上面固定部材とによる前記挟持固定状態で組み付け調整を行いつつ、前記立上り固定片と垂下固定片とをそれぞれビス固定することにより位置ズレ規制可能に構成されていることを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

以下、本発明の実施の形態を好適な実施の形態として例示する耐震用の補強下地材の下地材固定金具を図面に基づいて詳細に説明する。図1は、本発明の実施形態に係る天井下地の要部斜視図である。この図に示す天井下地には、躯体天井部から所定の間隔を存して垂下される複数の吊りボルト1と、複数の吊りボルト1間に野縁受けハンガー21を介して吊りボルト1の下端部に支持される野縁受け2（下側天井下地材）と、野縁受け2の上面側や、必要において躯体天井部と野縁受け2との間に図示しない振れ止め固定金具を介して水平状に架設される振れ止め（下側天井下地材）に対し、直交させて配設される耐震用の補強下地材3（上側天井下地材）が含まれている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

叙述の如く構成された本発明の実施の形態において、いま、天井部の下地施工において、耐震用の補強下地材3を下地材固定金具4を介して野縁受け2や振れ止めに直交配設させて取り付けるのであるが、本発明にかかる下地材固定金具4は、直交する下地材の開口側から配設されるよう、下側下地材（野縁受け2や振れ止め）の裏面側上面部と上側下地材（補強下地材3）の下面部に跨って支持受けする略矩形状の下面支持片411を有する下面固定部材41と、上側下地材の裏面側下面部と下側下地材の上面部に跨って支持受けする略矩形状の上面支持片421を有する上面固定部材42とを組みとして上下一対に備えると共に、下面支持片411に、上側下地材の側面部に係合してビス固定される立上り固定片412を折曲形成する一方、上面支持片421に、下側下地材の側面部に係合してビス固定される垂下固定片422を折曲形成せしめて、下面支持片411と上面支持片421とを、挿通された締結手段5（角根丸頭ボルト5aとナット5b）の締め付け操作によって挟み込み挟持させた状態で、対面する下地材の上面部と下面部同士を互いに圧着させて挟持固定可能に構成し、直交する下地材同士を、下面固定部材41と上面固定部材42とによる前記挟持固定状態で組み付け調整を行いつつ、立上り固定片412と垂下固定片422とをそれぞれビス固定することにより位置ズレ規制可能に構成されている。